

アルパインツアーのNZ企画がおすすめな理由

1. 世界の山を旅して49年、NZは41年の実績

私たちは「世界の山旅」のバイオニアとして海外の登山・トレッキングなどの山岳旅行をリードしてきました。当社社長の芹澤は約34年前、NZに長期滞在し、現地の人々と交流し、南島・北島のさまざまなトレッキングコースを歩き尽くしました。以来、その経験と実績に裏付けられたユニークな数多くのプランは、山と自然を愛する方々に好評をいただいております。

2. ツアーリーダー同行で安心の山旅

アルパインツアーのツアーリーダーは単なる添乗員ではありません。スムーズな旅程管理はもちろんのこと、山歩きを安全にご案内するリーダーでもあり、旅を楽しむエンターテイナーでもあります。現地に精通したツアーリーダーが、温かいおもてなしの心で、安心して充実の山旅をご案内します。

3. NZ在住のツアーリーダーたち

アルパインツアーには、ニュージーランド在住の経験豊富なツアーリーダーたちが揃っています。車を運転してハイキングにもご案内できるニュージーランド人のエキスパート・ツアーリーダーから、ミルフォード、ルートバーン・トラックのガイド経験のあるスタッフなど、地元に住むものならではののご案内とおもてなしが好評いただいております。

ツアーリーダーと合流するまでがご不安な方もご安心ください。オークランド空港では現地日本語係員が国内線乗り継ぎのご案内をさせていただきます。

また、右記の者以外の、ツアーリーダーが日本から全行程同行するコースもございますので、お気軽にお問合せくださいませ。

私たちがご案内します



リチャード・ライアル



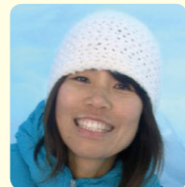
クレイグ・マクラ克蘭



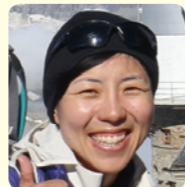
小暮一男



土屋貞夫



品川昌子



鈴木亜希子

4. 少人数グループで山仲間を増やそう!

アルパインツアーでは8~16名程度を1グループとし、機動性のあるバンやミニバスを使って毎日のハイキングにご案内します。少人数だからこそ、初対面のお客同士でも打ち解けやすく、実際にツアーで知り合ったお客様が日本で再集合してハイキングを楽しまれることもございます。ご参加の皆さまから「行って良かった」と言っていただけの企画と運行に、これからも励んでまいります。



▲厳選したハイキングコースへご案内(写真はアオラキ/マウントクック)



▲地元で人気のお店に立ち寄ることも



▲リチャードの面白いガイドを聞きながらドライブ



▲山好きなメンバーで打ち解けるのも早い



▲ミニバスで移動も楽々

ニュージーランド 可憐な花と植物

~山で見かける固有種いろいろ~

① ラージマウンテンデイジー NZデイジー科50種の中の最大種	② マヌカ 英語名はティーツリー。蜂蜜は人気のお土産。	③ エバーラスティング・デイジー 花の直径は、デイジー科の中で最小種	④ サウス・アイランド・エーデルワイス 高山の岩場にだけ生息。実はデイジー科	⑤ マウント・クック・リリー キンポウゲ科の世界最大種
⑥ マーガリート 南島の高山のみ生息、色は白や黄色	⑦ コロミコ ゴマノハグサ科で11~12月に花が咲く	⑧ マウンテン・フォックス・グラブ 一つの茎から円形の輪に花が咲く	⑨ レザリー・リープ・マウンテン・シービー ゴマノハグサ科、雨を好む高山種	⑩ プリクリー・シールド・ファーン 南島の湿地に多く生息するシダ
⑪ マオリ・オニオン 高山に群生するユリ科、花は黄色	⑫ グリーン・フットッド・オーキッド NZラン科20種の代表格	⑬ クラウン・ファーン シダの国NZ、200種の代表格	⑭ スファグナム・モス NZ苔類550種の中のミズゴケ類	⑮ サザン・ラータ 夏に山を赤くするほどの花が咲く

“タカヘ”を守るプロジェクト

野鳥の国として知られるニュージーランドには、現在328種の鳥が確認されています。そのうちの66種は、他のどの国でも見ることができないニュージーランド固有種とされています。

もともと天敵となる哺乳類がいなかったニュージーランドでは、鳥たちは逃れるために飛ぶ必要がなくなり、長い年月の間に地上生活に適応した“飛べない鳥”が進化していったことはよく知られています。しかし18世紀にヨーロッパ人による植民地化が始まり、イタチをはじめとする動物たちが持ち込まれると、新たな天敵に遭遇した飛べない鳥たちはあっという間に数を減らし、タカヘも1898年に絶滅したとされていました。そのタカヘが、ミルフォード・トラックの出发点にほど近いマーチンソン山脈で“再発見”されたのが1948年のこと。それ以来、ニュージーランドでは、この鳥を守り、数を増やすための努力が続けられています。

アルパインツアーでは、フィヨルドランド国立公園でハイキングするツアーの売り上げの一部を、保護活動を推進しているDOC(自然保護省)に寄付し、その活動を支援しております。寄付金は、大きく分けて2つの目的のために使われる予定です。ひとつは、天敵であるイタチを駆除するための罠の設置です。もうひとつは、DOCが運営する

DOCによる希少動物保護活動

タカヘ保護区の維持・管理です。今後、さらに保護区を増やしていく予定としており、今回の寄付金は、主にこのプロジェクトのために活用されるということです。

人工飼育・人口孵化の技術が年々高まり、現在タカヘの生息数は約347羽、保護区での生息数も増えてきています。今後も、タカヘの数が増え続けることを期待し、明るいタカヘの将来を願っています。



タカヘとは...
クイナの仲間で、体長は約60cm。光沢のある青と緑のグラデーションが美しく、大きな赤いくちばしを持ったニュージーランド固有種の飛べない鳥です。

アルパインツアーでは、2011年からこのプロジェクトを始め、今年で9年目になります。2018年はNZ\$1,730をDOC(自然保護省)に寄付いたしました。

豊かな自然が残る国立公園がハイキングの舞台

アベルタスマン国立公園

美しい海岸沿い、砂浜、沖合に浮かぶ島々、原始の森など多様な風景を楽しむことができます。ハイキングのほかにもカヤックやボートなど海のアクティビティも盛んです。



エグモント国立公園

“ニュージーランド富士”とも呼ばれるタラナキ山(Mt.エグモント、2,518m)を擁する国立公園です。その名のとおり富士山に似た左右対称の美しい山容は見るものを魅了します。



トンガリロ国立公園

北島最高峰ルアペフ山(2,797m)など、現在も活動を続ける3つの火山があります。溶岩台地や温泉など火山地帯特有の山岳・自然景観が魅力で、世界でも4番目に古い国立公園です。



ウエストランド国立公園

年間降水量が多いため、標高が低いところに発達した氷河で有名な国立公園です。フォックスグレーシャーやフランツジョセフを起点に氷河上を歩くことも可能です。



フィヨルドランド国立公園

南島南西部に位置する国内最大の国立公園。未踏地域が多く、手付かずの自然が保護されています。キウィなど希少な鳥も生息し、シダとコケに覆われた原生林が緑一色の世界をつくり出します。



マウント・アスパイアリング国立公園

広大な原生林やU字谷の平原、山上湖、そして秀峰Mt.アスパイアリング(3,030m)などの高峰群が集中する国立公園です。氷河を間近にのぞむロブ・ロイ氷河を展望するハイキングコースが人気です。



アオラキ／マウントクック国立公園

NZ最高峰Mt.クック(3,724m)をはじめ、標高3,000m以上の高峰19座を擁し、面積の40%を氷河が占めています。シーズン中は大勢のハイカーで賑わい、数多くのトレイルが整備されている人気の国立公園です。



NZの国立公園

NZ国内にある14の国立公園のうち、世界で4番目に国立公園に制定されユネスコの複合遺産でもある北島のトンガリロ国立公園の他、下段で紹介する南島の4つの国立公園は「テ・ワヒポナム」として自然遺産に指定されています。テ・ワヒポナムとは、先住民マオリ族の言葉で「グリーンストーン(翡翠)のある場所」という意味で、貴重な宝物のある場所を守る、という願いが込められています。

ニュージーランドの代表的日帰りハイキングコース

ここではコース中でお楽しみいただくことのできる主な15コースをご紹介します。

エグモント国立公園

①タラナキ山登頂

[徒歩約9-10時間・健脚向き]

タラナキ山(2518m)はNZ富士とも呼ばれる美しい山容。プラトー登山口(1,172m)からタフランギロッジを経て、標高2100mを過ぎれば上部まで岩場のルートが続く。火口鞍部にさしかかれば約一時間ほどで山頂に導かれる。独立峰の頂からの展望は素晴らしい。

[P.18に掲載のコースで歩きます。]



トンガリロ国立公園

②Mt.ルアペフ登頂

[徒歩約6時間・健脚向き]

1894年世界で4番目の国立公園として誕生、1991年に世界遺産登録。北島の最高峰ルアペフ山(2797m)へはリフトを乗り継いだ標高2000m地点から登山開始。天候さえ良ければ比較的登りやすい。頂上手前のドーム・ピーク(2672m)まで登り、往路を引き返す。

[P.18に掲載のコースで歩きます。]



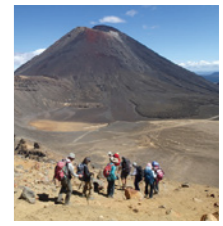
トンガリロ国立公園

③トンガリロ・クロッシング

[徒歩約5-9時間]

NZ国内で“最もドラマチックな日帰りハイク”として名高い約19kmの行程は、荒涼とした溶岩台地や月世界を思わせる巨大なフレーターを巡り、色鮮やかな温水湖、原生林など一日で体験するには充実度満点の変化に富んだコース。火山地帯の多様な自然景観を満喫。

[P.18、20、21に掲載のコースで一部または全て歩きます。]



トンガリロ国立公園

④スカイライン・リッジ

[徒歩約3時間]

ルアペフ山の山頂に行かずして好展望を得られるコース。ワカパスキー場のリフトを乗り継ぎ、標高約2,000m地点よりハイキング開始。尾根を辿り、約300m登ると素晴らしい展望が広がる。ニュージーランド北島最高峰ルアペフ山を眺めながらのハイキング。

[P.20に掲載のコースで歩きます。]



アオラキ／マウントクック国立公園

⑤レッドターズハイキング

[徒歩約5時間]

静かな沢沿いの階段状のトレイルを登り、アオラキ／マウントクックはじめ雄大な山々を往復する。条件が良ければ、さらに先のサザンアルプスの絶景が見渡せるマクナルティターンズへ。小さな池が点在する展望地から往路に戻る。

[P.28に掲載のコースで歩きます。]



アオラキ／マウントクック国立公園

⑥フッカー谷ハイキング

[徒歩約3-6時間]

NZ最高峰Mt.クック(3,724m)の南壁を仰ぎ見るフッカー谷を訪れる終日または半日コース。キャンプ場を抜け、2つの吊り橋を渡れば、断崖から離れるように広い谷の湿原に導かれ、突然、谷奥に聳え立つMt.クックの美しい姿が現れる。終日コースは氷河湖末端まで往復。

[P.11、12、14、16、21、26、31に掲載のコースで歩きます。]



マウント・アスパイアリング国立公園

⑦ロブ・ロイ氷河展望ハイキング

[徒歩約5時間]

サザンアルプスに囲まれポナラ並木が美しい湖畔の街ワナカから車で約20分の移動で登山口から車でマツツキ谷の奥へと進み、ラズベリーフラットの登山口へ。吊り橋を渡り、プナ林を少し登れば2時間程度で森林限界を抜け、突然、山頂から落ち込む迫力の懸垂氷河の全景が現れる。往路に戻る。

[P.12に掲載のコースで歩きます。]



ワナカ郊外

⑧ダイヤモンド・レイクとロッキー・マウンテン

[徒歩約3-4時間]

ロッキー・マウンテンは、ワナカから車で約20分の移動で登山口に到着できる好展望の山。標高差約450mを登ってワナカ湖を一望する山頂に到着。天候に恵まれば湖と反対側には、峻峰Mt.アスパイアリング(3,033m)がそびえる。地元でも人気のコース。

[P.14、16に掲載のコースで歩きます。]



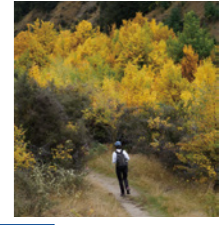
アロータウン郊外

⑨ジャーマンヒルズ・サーキットハイキング

[徒歩約2.5時間]

19世紀にゴールドラッシュにわいたアロータウン近郊にある地元で人気のハイキングコース。秋にはナナカマド、カエデなどが美しく色づき目を楽しませる。標高差約300mを一気に上がるとクイーンズタウンの町並みやヘイズ湖の風景がひろがる。

[P.11、16に掲載のコースで歩きます。]



フィヨルドランド国立公園

⑩ミルフォード・トラック1日ハイキング

[徒歩約4時間]

ミルフォード・トラックの最初または最後の一部分を歩くコース。ボートで湖を渡り、プナヤシダに覆われた原生林のトレイルを往復。コースはおおむね平らで歩きやすく、ミルフォードトラック特有の緑一面の美しい景色を堪能できる人気の日帰りハイキング。

[P.11、12、16、21に掲載のコースで歩きます。]



フィヨルドランド国立公園

⑪ルートバーントラック1日ハイキング

[徒歩約3時間]

テアナウからミルフォード・サウンドへ続くミルフォード・ロードのディバッド峠(532m)から登山開始、1時間ほどで森林限界を抜け、ハウデン湖との分岐点からさらにジグザグに登れば、広い尾根上に高層湿原が広がる360度の展望台キー・サミット(919m)に到着。

[P.11、12、14、16、21に掲載のコースで歩きます。]



テアナウ

⑬ケプラー・ヘリ・ハイキング

[徒歩約6-7時間]

フィヨルドランドの絶景を望むケプラー・トラックの一部分を歩くコース。往路はヘリを利用して、ラクスモア小屋(1,085m)へ。そこからMt.ラクスモア(1,472m)に登頂し、フィヨルドランドの大展望を堪能。復路はプナヤシダの森を歩いて下山する。

[P.14に掲載のコースで歩きます。]



クイーンズタウン

⑭ワカティブ湖展望ハイキング

[徒歩約3-4時間]

町はずれからゴンドラでボブズ・ヒル(812m)展望台へ。裏手の樹林からスタート。展望の良い草原帯を抜けるとペンローモンド山(1,748m)の姿が現れる。手前の鞍部を終点とし、ワカティブ湖とクイーンズタウンの街並みを見下ろしながら往路に戻る。

[P.14に掲載のコースで歩きます。]



テカポ

⑮マウントジョン・ショートハイキング

[徒歩約1-2時間]

テカポの西側にあるマウントジョンを歩くコース。山頂からの展望は素晴らしい。遠方には氷河を抱いたサザンアルプス、眼下には美しいミルキーブルーのテカポ湖を見渡せる。晴天率の高いテカポは、マウントジョンに天文台があり、夜は星空観賞が可能。

[P.14、16に掲載のコースで歩きます。]

